



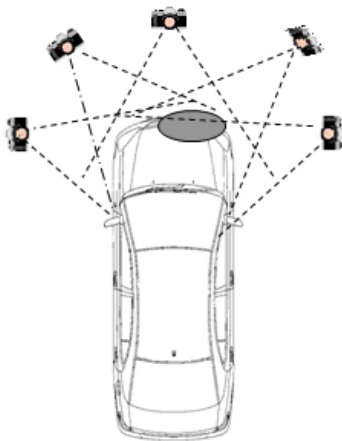
画像伝送 損傷車両の写真撮影方法

○写真枚数4～9枚程度でわかりやすく。場所を確保して構図を考え全体から細部へと撮影する。

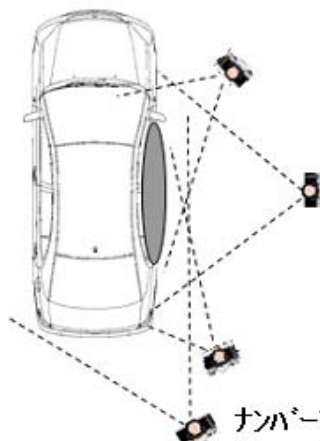
○デジカメの設定は記録画素を小さく、画質モード(圧縮率)をエコノミー・ノーマル等に設定。

1. 車両全景(外観撮影)

- ライセンスプレートが判別できる様な全影写真を必ず撮影。
- 損傷箇所を中心に、損傷全体がわかるように3～5方向から撮影。
- 撮影するカメラの高さは損傷の中心か、それより少し高めで撮影。



【前面が損傷した場合】



【右側面が損傷した場合】

ナンバープレート撮影

2. 内部撮影

- 内部に損傷がある場合
前部であればボンネットを開けて【エンジンルームを撮影】
側面であればドアを開けて【ドア開口部を撮影】
後面であればトランクを開けて【トランク内を撮影】



3. 詳細撮影

- 外板パネル
 - ・変形の程度・範囲がわかるような撮影。
 - ・わずかな凹みの場合は、斜め(すかし)方向からの撮影や、他物の投影像を写し込むのも有効です。
- 内板・骨格部位
 - ・変形状態がわかるような撮影
- メカニカル部位
 - ・損傷状態がわかるような撮影
- 作業中の写真
 - ・着工前の写真で損傷範囲が分かり難い場合に撮影

